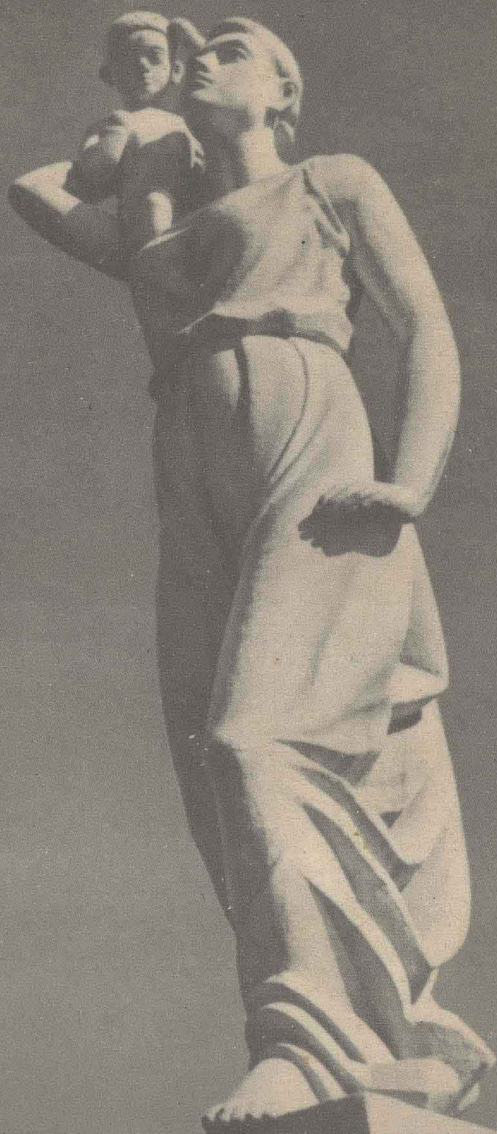


戦争未亡人の叫び

植村環
平林たい子
田辺繁子
編



いと子と耐えてゆかむ



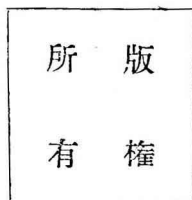
植村環
平林たい子
田辺繁子
編

予未亡人の叫び

しよと耐えゆむ

主婦之友社

昭和二十七年二月二十五日 印刷
 昭和二十七年三月一日 発行
 昭和二十七年三月十八日 再版発行
 昭和二十七年四月八日 三版発行
 昭和二十七年六月二十日 四版発行



本社出版物中、もし落丁、乱丁その他不良の品がありました場合はお取替えしますから、お買求めの書店か本社へお申込みください。

戦争未亡人の叫び

いとし子と耐えてゆかむ

(定価一八〇円)

編者

植村環
 平林たい子
 田辺繁子

発行者

石川数雄

印刷者

矢板東一郎

印刷所

東京都台東区龍泉寺町三百六十五番地
 明善印刷株式会社

発行所

東京都千代田区神田駿河台一丁目六番地
 株式会社
 主婦之友社

電話(神田)一一六一(代表)
 振替東京一八〇番

生きてる犠牲者の書

獅子文六

これほど心を打つ文献は珍らしい。

文飾も、誇張もなく、眼を掩はしめる事実が、訴へられてゐる。耳が痛みを感じる切ない心が、叫ばれてゐる。

終戦後七年間、彼女等はジツと堪へてゐたが、今や堰が切れたといふ印象を、強く感じさせる。

この書は、「きけわだつみのこえ」よりも、私を深く考へさせた。それは、書いた人が、現に生き、悩み、苦しみつゝあるといふことである。死者の書でなく、生きてる犠牲者の書であるからである。

子と生きる母の強さ

衆議院議員

中^{なか}

山^{やま}

マ

サ

今までに、私はこれほど胸の奥底までゆり動かす書物に接したことがありません。読んでいるうちに、涙がこみ上げて来て、途中で何度巻を被うたことでしょう。

読後の感想は、『よくぞ、きびしい試練に耐え抜いてくださった』という感謝の一語に尽きます。『生きている護国の神々』ということばが、もしあるなら、まつ先に、この妻、この母の方々が受けられねばなりません。

歯をくいしばつて、生活とたゝかいながらも、明日への明るい希望を失わぬ母の強さ――この方々の生々しい血涙体験を読むことにより、共に涙することにより、為政者も、教育家も、夫も、妻も、母も、子も、学生も、必ず心に一転機あることを信じて疑いません。この書こそ、日本人必読の書です。

編者のことば

植^{うえ}

村^{むら}

環^{たまき}

夫に先だたれた婦人を『未亡人』と呼んではいけないという声がこの頃よく聞かれる。しかし、この失礼な名称にムツとする寡婦であつても、時に自分の存在の意義を疑い、死神に憑かれたような気になる事もある事は、私自身経験済みであるのだ。

死別生別共に悲しき事ながら、生別の悲しみは大方、怨みと憎しみを伴う。死別の場合、悲痛は雖で揉まれるように鋭かろうとも、傷口から、何か清純な泉の如き感情が迸るのである。何故なら、死は欠点と誤謬に蓋いをかけ、長所と美点を顕わにしてくれる天使である。

殊に亡夫の形見なる愛児をもつ人には、温い慰めもあるう。強い励ましもあるう。『女は弱けれど母は強し』とはいつも真実である。愛児のためには驚くべき底力がこみ上げて来るのである。

長い看病の挙句、一人の女児を形身に寡婦となつた私は、死別後五ヶ月で、脾弱い次の子供を与えられたが、お産の時、いきむ事も出来ないほど、体力も精神力も弱り果てて居た。けれど、その子は、そ

の姉なる児と共に、母なる私を甦起せしめてくれた。

私の夫は病死だつたが、戦争のために突然この世から取られた方々については、何といつて御慰め申してよいか、言葉がない。それも、日清日露戦役の勇士と異り、筋道の立たない敗戦の犠牲となられたのであるから、残つた方々の御悲しみには、『無念残念』というような気持がつき纏う事と御察しする。さりながら愛する姉妹方よ、あなた方の夫君らは、やはり日本のために死なれたのだ。日本が再び自らの虚栄と貪慾のために戦争を起す事のないようにいけにえとなられたのだ。国家民族の再び犯してはならぬ誤謬の防波堤となられたのだ。世界に第三次戦争が万一来るとしたら、今度は日本の責任ではないだろう。

私共はあなた方の夫君らに無限の感謝を献げる。どうぞ、それが漠とした感謝の情で果てる事なく、建設的な、具体的な果実を結ぶように祈る。

遺族らの悲しみが、たとえ、清純な泉のようであろうとも、そこに経済的の苦難がつき纏つては、地獄を思わせる事もある。私も二十八才で寡婦になり、二児を抱えて、家計のため毎日勤務した時は、身体萎え疲れる事を覚えた。しかし、想えば、あの時分はこの時代と比べて、まだまだ暮し易かつた。私は、皆さんの手記を讀んで涙に咽び、健康な御奮闘に敬意を献げ、手に汗握つて御成功を祈るものがある。

八方塞がりに見える場合にも、神は私共のために血路を開いて置いて下さる。あの、ワッツの『希望』

という画を想起せられよ。一人の婦人が地球の上に坐り、堅壁を手にして首俯れて居る。琴には一条の糸しか残つて居ないが、頭上には、微かながら、星一つ瞬いて居る。悲しいかな、婦人の眼は布で隠されて、星をも、一条の糸をも認めないのである。私共には、最悪の場合でも、一つの星と一条の糸は残されて居るものなのである。希望を失つてはいけない。

平^{ひら}林^{はやし}たい子^こ

飾らない筆でかいてあるにもかゝらず、この手記には激しく心をゆすぶられた。思はず涙がほとばしり出て、階下に行くのがはづかしかった。

一眸の焼跡に、ミシンや金庫の赤錆びた残骸がちらばつてゐた無残な戦後風景は、一応バラック建てに掩はれてしまつたけれど、その一軒一軒の家の中に残されたこの大きい傷痕は、どうにも癒しやうがないのである。都会も村もどうやら起き上つて、祝日には国中国旗がひるがへり、都会には夜毎にネオンがともつても、沢山の不幸な妻たちがこのやうにそのかげで慟哭してゐることを思ふと、私達の心は憤りと悲しみで疼かすにはゐられない。

戦争で夫を失つた妻、子や父を失つた母や子の永遠の悲しみこそ恐らく、戦争のもたらした最大の悲劇であらう。

この手記の彼女達には言ひ合はせたやうに幼い子供がある。大部分の子供たちは、父親の顔は知らずに、さういふ父があつたといふことだけを教へられてゐる。彼等には、父親は一枚の写真にすぎない。現実の親は母親一人だから、その母に寄せる子としての愛情は、両親の揃つた子の両親二人分であるらしい。

病氣で片足を切断して、不具になつてもお子さんのために洋裁学校に通つた橋本ユキさんの手記に、大雨の日や夕立の日には自転車での往復もなか／＼難儀なので、家にのこしたお子さんが母親の不具の体を案じて、「お母さんがかへつて来られない」と泣き出すので、弟さんや妹さんがリヤカーでユキさんを迎へに行くといふことがかいてあつた。何とたのもし、しかし何と悲しい親子の毎日だらう。しかし、世の荒波の中で揉みかへされてゐる母親の心では、子に対する愛も執着も現れかたは複雑で、あるときには思ひがけない様相をもつてゐる。大久保イクノさんの手記に、戦後五つで亡くなつてしまつた長女の位牌に、この頃は手を合はせて、「あんたはよく死んでくれました。お母さんは二人の子供を学校にやるのが精一杯で三人そろへて学校にやるにはどれ程苦労したかわかりません、あんたが親孝行したのです」と泣いてをがむことがかいてあつた。恐らく世間への体裁も見得もかなぐりすてた、正直な実感であらう。そんなみじめな孝行をしてくれた早逝の子であるが故に、その子に対するあはれは、人一倍なのであらうのに。

長い恨みをあづけて去つたとはいへ、その亡い夫への追憶も、この手記は、いはゆる貞女の紋切型で

ない。

武政加登子さんは、そのことを正直にかいてゐる。夜毎に亡い人の面影を求めて無理に眼をとちて見たあの頃からだん／＼日がたつて去る者は日々にくとして、この頃は、故人のことを忘れてゐることが多い。そして心の隅に、真の愛を捧げ得る人が現れたら、結婚してもよいといふ考へがちら／＼のぞき出した。そんな女ざかりの情熱をなんとか他の方面にまぎらすために、保母を思ひたつた、と。

また、伊藤万起子さんの場合ではその危機が一步すゝんで、姑や子供たちを抱へた身である男性と特殊な關係に陥り、親類などから疎んぜられてゐる。恐らく、しばらく前なら、こんな告白は他人の誰に向つてもできないどころか、自分自身でそのことを認識するのさへ、躊躇したにちがひない。こんなことが正直に言へるやうになつた程度には、この方々の身边は緩かになつたのであらう。しかし、もし、一步すゝんで、この人達が堂々と再婚の道にすゝまうとすると恐らく、ガチンとそれを拒む大きな岩にぶつつかつてしまふのである。いまの伊藤さんの手記でも、そのBといふ人は、妻を失つたやもめだから、彼にその気さへあれば、ちゃんと、筋道のたつた結婚に入ることもできるのに、子供のことを考へると彼はその気にならないらしいのである。

あらゆる手記に共通した生活苦の問題はもとより、再婚の問題にしろ、中年になつてからの就職問題にしろ、どの一つもが厚い壁にぶつつかつてゐることを語つてゐる。わづかに、近日実施される遺族の援護に、みんな相当な希望をつないでゐるらしいけれども、はたしてどれだけの力となり得るやら、昨今の新聞の趣では、心細いことである。

しかし、私は、これらの手記をよんで、日本の女が虔しい中にもリンとした気概と柔軟な強さをもつてゐることを実感してしみじみうれしかつた。女は弱いといふあり来りの言葉はもう破りすてゝよい。戦中戦後を通じて日本の女が発揮した目ざましい働きは、ある場合には男を凌いでゐたと信じる。

しかし、彼女達がいかに辛抱がよく、堪へ、支へ上げてゐるからと言つて、あの切ない働きぶりをだまつて見過してよいものだらうか。不幸な彼女達の最後の一人が救ひ上げられるまで、日本が復興したなどといふ言葉は、断じて使ひたくないものだと思ふ。

田^ナ 辺^{ナベ} 繁^{シゲ} 子^コ

未亡人の方々が血と涙でつゞられたこれらの手記は、何という悲惨な記録でありましょうか。

生きる為の力を何も与えられていなかつた今までの女性が、生きるために、愛児を育てるために、又亡き夫の両親を養うために、如何に苦しみ、戦い、そして、正しく生きぬいて来られたか、時には、人間としての、女性としての、息づまるばかりのもだえさえ克服して。私はたゞど頭が下るばかりで言う言葉がありません。

戦争に夫をさへげて、生活のもとを断たれたこれらの方々に對して、いつたい国は、国として、どういうことをしたでしょう。今度私は、英国にまいりましたので、英国の戦争未亡人達が如何様にして

国からもつぐなわれ、社会からも守られているかを知りました。フランスでも、イタリーでも戦争未亡人は守られていました。

彼女達は、託児所に子供をあずけ元気に働きに出て行く人達でした。「泣いている未亡人を私はロンドンでも、又、田舎の村々でもさがし求めました。しかし、誰も泣いていない。否、亡き夫をしたい泣くことはあつても、生活のために泣くことはないのです。私は、このことが言い度いのです。終戦後六年間、ほつておかれた母とその子供たち、いつたい、これでよいものでしょうか。生きることには敗ける人は、とつくに敗けてしまいました。落ちこんだ人はとつくに落ち込んでしまいました。不良に走つた子供達は、不良になつてしまいました。

「貴女の国の政府が、戦争未亡人を助けることを否と言つたのですか。それとも役人が知らぬ顔をしていたのですか。貴女達女性はずいぶん立ちあがつて、自分達の仲間のために戦わなかつたのですか。この問題は人道の問題です」私は、ロンドンでも、パリでも、ローマでも、こゝにわけて苦しくなりました。日本では、いままでも戦争未亡人に何の助けの手もさしのべていないということを告げると、彼等は、驚きの目を見張り、私にするどくつめよるのでした。敗けたドイツもイタリーもやつている。工場には託児所があり、町々にも託児所がある。三ヶ月六ヶ月の職業指導所もあれば、親切な職業紹介所もある。その外、カソリックの社会奉仕的な活動は、なやめる未亡人や、苦しむ未亡人に物もあたえるが又心の友ともなつている。こうした状態を見ると「未亡人を泣かせているのは日本だけだ」と私は思いました。

皆さん、どうか、このいつわりのない未亡人の方々の手記を誦んで下さい。一人でも多く誦んで、いただき度いのです。子供を持つ若いお母さんも、年輩いた人達も、更に又、政治家も、役人も是非誦んで、未亡人に今何が一番必要か、をよくよく考えていただき度いのです。夫も妻も丈夫で平和に暮しているその夫も妻も、みんなこの書に目を通して下さい。そして、日本人みんなが今こそ、戦争未亡人の問題をよくよく考え、一刻も早く、彼女達の生活に光を、もう少し人間らしいやうを、ゆとりを与える様に考へる時は今なのです。

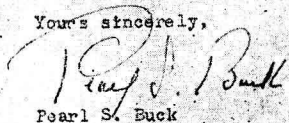
ではどうすればよいのでしょうか。慈悲や、同情だけではどうなるものでもありません。

どうしても、第一に「物」が考へられなければならないのです。そして、それは一刻も急いでほしいのです。気の張りつめた彼女達の母性が、つかれ切らない前に、子供がすきみ切り、何のしつてもされずに、世の迷惑な存在になつてしまわない前に、いゝ方策を考へてほしいのです。

ヨーロッパの未亡人達が、元気で働いている様に、皆様の立ちあがられたお姿には、私は頭が下ります。どうか自分の健康を大切にして、尙一層いそしんで下さいませ。次の時代を背負つて立つ、かわい人達が貴女のお手の中にゆだねられています。責任の重いだけに甲斐のある皆様方です。心から御健闘をいのります。

I am surprised indeed to hear that war widows in Japan receive no help from the Government. This seems to me very wrong indeed. They suffer more than the soldiers who died, for they must continue to live. Yet all their loss was for the sake of the country, and other citizens therefore should see that they are cared for. I trust that you will make known the fact that in other civilized countries war widows are considered a national responsibility.

Yours sincerely,



Pearl S. Buck

戦争未亡人の問題について

パール・バック女史の手紙

お手紙ありがとうございました。

日本の戦争未亡人が、政府から何の援助も受けていないということを伺つて、全く驚き入りました。これは実に不都合なことだと存じます。戦争未亡人たちは、これから先も生きて行かねばならないのですから、戦死された御本人たちよりも、ずつと被害が大きいわけです。しかも彼女たちの失つたものは、すべてお国のためだったのですから、一般国民としても、彼女たちの援護が行きとどくように手を尽してあげるのが本当でしょう。他の文明諸国では、戦争未亡人ができたのは国家の責任であるという考え方をしているのですから、このことをみんなに知らせてあげてくださいませ。

この手紙は主婦之友社が、パール・バック女史に、在米の渡辺道子弁護士を通じて、日本の戦争未亡人問題についての意見を求めたのに対する、渡辺弁護士あての返事であります。パール・バック女史は「大地」その他の小説で有名なアメリカの女流作家、特に東洋に対する理解の深いことで知られています。

目次

生きてる犠牲者の書	獅子文六(一)
子と生きる母の強さ	中山マサ(二)
編者の言葉	植村環(三)
	平林たい子(五)
	田辺繁子(八)
戦争未亡人の問題について	
パール・バック女史の手紙	(二)
毎日お母さんが家にいてほしい	(伊丹市) 井上千代子(七)
命のかぎり燃えたきものを	(静岡県) 長瀬はな(三)
片脚だけの不自由に耐えて	(埼玉県) 橋本ユキ(元)
理髪の仕事を受けついで苦闘	(福井市) 伊尾つや子(三)
教員になつて清く生きる	(小倉市) 藤野みつ子(四)
平和のランプと愛の熱	(大阪府) 福岡貞子(四)

胸の病に臥して……………	(大阪市)	佐伯文子(一五)
子供にはげまされて……………	(三重県)	山本ハツ子(一三)
堅実一路に生きる未亡人……………	(青森県)	沼辺せき(一七)
義父母の冷酷に追われて……………	(秋田県)	下田琴(一七)
洋裁で子を守る今日までの苦闘……………	(高知県)	武政加登子(一六)
夫の仕事を受けついで……………	(山口県)	清香園子(一六)
美容院を経営するまでの苦闘……………	(新潟県)	市川利子(一五)
子ゆえに男の世話を脱した苦心……………	(東京都)	木村八重子(一七)
馴れぬ百姓仕事に苦勞……………	(千葉県)	菊間ひさ子(二〇)
母という名に救われて……………	(長崎県)	坂本貞子(一八)
悲しみに耐えて愛児と共に……………	(長崎県)	尼子文子(一六)
満州、香港、台湾を流転……………	(東京都)	中田ふさ(一三)
夫を硫黄島に失い洋裁で独立へ……………	(茨城県)	水戸はる子(一四)
馴れぬ商売に苦勞しながら子の教育を……………	(滋賀県)	高屋光子(一七)
子供の成長を誇りに……………	(富士吉田市)	羽田知登子(一五)
義父母と二児を養う苦闘……………	(福岡県)	大久保イクノ(一四)
三児を守つて苦しい生活……………	(大分県)	東文子(一五)

教員としての希望の生活へ	（山梨県）	田中とし子（二六）
いばらの道は続けども	（岡山県）	塩見君子（二五）
広島原爆に夫を失う	（千葉県）	西村美津子（二七）
軍人の妻ゆえに苦しむ未亡人生活	（盛岡市）	堤サキ（二九）
扶幼料は遠慮して苦闘	（北海道）	北田清子（二七）
ピアノを教えて成功	（呉市）	越野京子（二九）
娘と共に働いて	（西宮市）	山田とめ子（二七）
カリエスに臥す未亡人の苦闘	（静岡市）	伊藤万起子（二三）
過ぎ去りし日を顧みて	（臼杵市）	佐藤静子（二九）
再婚の話も子故に断る	（岩手県）	佐藤えい子（二三）
二児をも失つた母の悲しみ	（香川県）	西山光子（三〇）
幾万の父なき子のさけび	（鹿児島県）	白石きみ代（三四）
過ぎ去つた愛欲の彷徨	（北海道）	伊野美千子（三八）
眺めやる庭に無心の人形	（岐阜県）	後藤美代子（三四）
ミシンで暮す未亡人の苦闘	（横須賀市）	橋本シマ（二四）
二児が頼るこの母	（山口県）	山本一女（二七）
ソ連抑留に倒れた夫に寄せる	（鳥取県）	渡辺瑞江（二五）